

囚われ姫の性開発・服従教育

(アギオン編)

～登場人物～

アギオン … 商業国家アグロの国王で、瞳はアグロの王族であることを示す紫色。二年前に若くして王となったが、自ら前線に立つため兵からの信頼は厚く、国民にも慕われている。貴女をアグロに連れてこさせ自分の妃にしようとしている。

貴女 … ラバスティアの元第一王女で、突然の侵攻により隣国アグロに捕らわれた。アグロ国王に嫁ぐためという理由でロギナに一ヶ月間性的調教され、処女のまま子宮で絶頂できるようにアナルを開発された。

ロギナ … アグロ国王の従者。王の命令で捕らえた貴女に、一か月間特別な調教を施した。貴女を送り出した後の消息は不明。

トラック 1 王と囚われの姫

//アグロの兵に捕らわれた貴女は、アグロの城の
広間に連れて来られる

五段の階段の上に玉座があり、アギオンが座っ
ている



○アグロ城の広間

//貴女は玉座に向かって歩いていき、階段前で跪
く

SE：貴女の足音（大理石の床を靴で、玉座の階段下
までゆっくりと）

SE：貴女が床に跪く音（大理石の床、簡易なドレス）

アギオン「ようこそアグロへ。ラバスティア第一王女……いや、元王女」

アギオン「……（静かで威圧的な口調で）顔を上げろ。俺がアグロの現国王、アギオンだ」

SE：貴女が顔を上げる音

// 貴女はアギオンの顔がログナに似ていることに驚く

SE：衣擦れ

アギオン「……どうした？　俺の顔に何か付いているのか？」

// 貴女「あ……いえ……」

アギオン「まあいい。……お前を我が妻として迎え入れる。異論はないな？」

// 貴女「……ありません」

SE：衣擦れ

アギオン「……（嘲笑って）ふっ。あるはずもない。
拒めばその愚かな決断が何をもたらすの
か解っているだろう」

アギオン「では早速、アグロと俺への忠誠の証を見
せてもらおう。……こっちへ来い」

// 貴女は立ち上がって、絨毯が敷かれた五段の階
段を上っていく

SE：貴女が立ち上がる音（大理石の床、簡易なドレス）

SE：貴女の足音（絨毯を靴で、玉座までゆっくりと）

// 貴女は玉座に座るアギオンの目の前に跪く

SE：貴女が跪く音（絨毯の上、簡易なドレス）

アギオン「ほう……自ら跪くとは、生き延びるため

の術はすでに身につけているようだ」

アギオン「……そう。お前が我が妃となりアグロへの絶対服従を誓えば、可愛い弟妹も生き残った臣下も生き長らえる」

//貴女「……………はい。アグロと陛下に絶対服従を誓います」

SE：衣擦れ

アギオン「ではその絶対の服従という言葉に偽りがないか……手始めに、お前の純潔を確かめよう」

//アギオンが立ち上がる

SE：アギオンが玉座から立ち上がる音

アギオン「ついて来い」

//アギオンは貴女を背にして階段を下りていく

SE: アギオンが階段を下りる音（絨毯の上を靴で、貴女から遠ざかる）